

# 米をめぐる状況について

---

令和6年12月  
**農林水産省**

# 目次

○令和6年産の水田における作付状況（令和6年9月15日時点）	2
○令和6年産水稲の作付面積及び10月25日現在の予想収穫量	5
○主食用米等の令和6/7年及び令和7/8年の需給見通し	6
○米の販売数量及び民間在庫の推移（令和6年10月）	7
○民間在庫量と需要量の比率（在庫率）の推移	8
○相対取引価格の推移（平成24年産～令和6年産）	9
○令和6年産米の相対取引価格（令和6年10月の年産平均価格）	10
○消費者物価指数の推移	11
○スーパーでの販売数量・価格の推移（POSデータ）	12
○令和6年産水稲うるち玄米の1等比率及び前年産比較（10月31日現在）	13
○令和6年産水稲うるち玄米 等級別検査数量（令和6年10月31日現在）	14
○夏の高温・渇水の状況と対応について	15

# 令和6年産の水田における作付状況(令和6年9月15日時点)

- 全国の主食用米の作付面積は、都道府県ごとの増減があるものの、前年実績(124.2万ha)から1.7万ha増加し、125.9万haとなった。
- 戦略作物等の作付面積は、飼料用米及び米粉用米が減少し、新市場開拓用米、加工用米及びWCS用稲が増加するとともに、麦、大豆及び飼料作物等については、1.8万haの畑地化により、水田における作付面積(基幹作)が減少した。

## 【主食用米及び戦略作物等の作付状況】

	主食用米	戦略作物等									備蓄米
		加工用米	新規需要米				麦	大豆	飼料作物 そば なたね	戦略作物等 合計面積	
			新市場 開拓用米 (輸出用米等)	米粉用米	飼料用米	WCS用稲 (稲発酵 粗飼料用稲)					
H30年産	138.6	5.1	0.4	0.5	8.0	4.3	9.7	8.8	10.2	47.0	2.2
R元年産	137.9	4.7	0.4	0.5	7.3	4.2	9.7	8.6	10.2	45.6	3.3
R2年産	136.6	4.5	0.6	0.6	7.1	4.3	9.8	8.5	10.2	45.6	3.7
R3年産	130.3	4.8	0.7	0.8	11.6	4.4	10.2	8.5	10.2	51.2	3.6
R4年産	125.1	5.0	0.7	0.8	14.2	4.8	10.6	8.9	9.9	54.9	3.6
R5年産	124.2	4.9	0.9	0.8	13.4	5.3	10.5	8.8	8.5	53.1	3.5
R6年産	125.9	5.0	1.1	0.6	9.9	5.6	10.3	8.4	7.4	48.3	3.0
畑地化面積	—	—	—	—	—	—	0.3	0.2	0.8	1.3 (1.8)※	—

注1：加工用米及び新規需要米(新市場開拓用米、米粉用米、飼料用米、WCS用稲)は取組計画の認定面積。

注2：備蓄米は、地域農業再生協議会が把握した面積。

注3：麦、大豆、飼料作物、そば、なたねは、地方農政局等が都道府県再生協議会等に聞き取った面積(基幹作)。

※R6年産畑地化面積の戦略作物等合計面積欄の1.8万haについては、麦、大豆、飼料作物、そば、なたねのほか、高収益作物等を加えた面積。

# 令和6年産の水田における作付状況(都道府県別 令和6年9月15日時点)①

(ha)

都道府県	主食用米			戦略作物等											備蓄米	【参考】 R6年 畑地化面積
	①	【参考】		加工用米	新規需要米					麦	大豆	飼料作物	そば	なたね		
		前年産 (5年産) ②	増減 ①-②		新市場 開拓用米 (輸出用米等)	米粉用米	飼料用米	WCS用稲 稲発酵 粗飼料用稲	その他							
全国計	125.9万	124.2万	1.7万	50,197	11,246	6,330	98,666	56,479	69	103,099	84,416	49,471	23,984	575	30,014	17,653
北海道	83,700	82,200	1,500	6,800	2,515	153	5,303	2,484	-	31,782	16,498	8,944	5,430	371	1,814	11,113
青森	37,200	33,800	3,400	680	499	9	5,351	933	-	506	4,814	2,768	967	5	4,040	1,081
岩手	43,100	42,800	300	1,277	435	17	4,802	2,532	1	3,494	4,052	6,134	569	12	644	604
宮城	58,400	57,200	1,200	945	1,155	86	7,228	2,974	1	2,231	9,388	4,840	402	0	2,201	338
秋田	72,200	69,900	2,300	8,419	544	275	2,453	1,367	2	142	8,475	1,765	3,484	4	2,682	344
山形	52,400	52,400	0	4,309	476	103	4,663	1,366	3	89	4,497	2,257	4,128	1	3,422	1,010
福島	56,500	53,100	3,400	429	178	15	6,967	1,098	0	376	875	1,552	1,395	89	5,558	228
茨城	59,900	57,800	2,100	1,291	1,089	95	10,347	638	1	3,866	671	439	389	0	125	335
栃木	49,000	47,200	1,800	1,912	60	909	11,556	2,329	3	7,488	353	2,730	1,137	6	1,062	330
群馬	12,800	12,400	400	1,355	2	213	1,018	645	-	2,208	129	175	24	1	-	76
埼玉	28,400	27,500	900	144	58	918	2,073	120	-	2,228	364	141	88	2	40	9
千葉	48,300	45,800	2,500	2,072	49	119	6,642	1,307	-	469	233	275	4	-	123	24
東京	107	111	▲ 4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川	2,840	2,850	▲ 10	-	-	0	12	3	-	3	7	3	1	-	-	3
新潟	101,400	100,600	800	6,760	1,830	1,389	2,866	687	0	215	3,911	295	822	-	4,658	130
富山	31,200	31,200	0	1,143	358	320	1,914	538	-	3,258	3,668	334	256	19	1,848	66
石川	21,200	20,800	400	529	89	236	507	124	-	1,214	983	24	149	-	164	2
福井	21,900	21,500	400	493	253	125	1,531	166	6	5,156	130	44	523	-	700	10
山梨	4,590	4,660	▲ 70	68	-	21	18	23	-	67	96	21	111	0	-	-
長野	29,000	29,300	▲ 300	756	297	31	306	285	-	2,487	634	549	1,998	0	216	227
岐阜	19,600	19,700	▲ 100	1,139	140	72	2,777	320	-	3,718	298	570	248	-	104	16
静岡	14,400	15,000	▲ 600	99	1	8	774	332	-	258	30	40	29	-	4	7
愛知	25,000	24,700	300	650	43	303	1,309	183	-	5,722	84	135	5	10	143	-
三重	24,500	24,900	▲ 400	176	128	78	1,951	304	-	7,084	247	152	11	8	-	5

※1 主食用米は統計部公表の都道府県別の主食用米面積。

※2 加工用米及び新規需要米は取組計画の認定面積で、備蓄米は地域農業再生協議会が把握した面積。

※3 麦、大豆、飼料作物、そば、なたねは地方農政局等が都道府県農業再生協議会等に聞き取った面積(基幹作)。

※4 R6年畑地化面積は、R6年度に畑地化促進事業で採択された面積。

※畑地化事業による畑地化した面積は含まない。

# 令和6年産の水田における作付状況(都道府県別 令和6年9月15日時点)②

都道府県	主食用米			戦略作物等										備蓄米	【参考】 R6年 畑地化面積	
	①	【参考】		加工用米	新規需要米					麦	大豆	飼料作物	そば			なたね
		前年産 (5年産) ②	増減 ①-②		新市場 開拓用米 (輸出用米等)	米粉用米	飼料用米	WCS用稲 (稲発酵 粗飼料用稲)	その他							
滋賀	27,400	27,000	400	505	250	50	1,507	334	-	8,505	537	189	120	12	231	7
京都	13,000	13,200	▲200	530	21	12	119	178	-	275	264	43	140	-	-	37
大阪	4,290	4,430	▲140	0	-	1	6	6	-	0	5	1	-	-	-	14
兵庫	32,200	32,500	▲300	667	215	40	690	1,040	6	1,954	1,620	730	108	8	-	96
奈良	7,960	8,200	▲240	11	-	31	32	41	-	72	23	5	2	0	-	9
和歌山	5,680	5,780	▲100	-	-	1	2	4	-	9	8	2	2	-	-	1
鳥取	11,600	11,700	▲100	17	33	1	717	425	0	81	569	757	321	0	77	187
島根	15,700	15,900	▲200	200	2	7	735	835	0	252	566	420	284	6	25	63
岡山	27,200	26,900	300	281	196	81	1,143	533	-	1,168	1,003	835	105	0	34	40
広島	20,100	20,500	▲400	358	55	93	355	740	0	308	233	907	262	0	11	127
山口	15,800	16,000	▲200	972	101	16	999	441	0	817	654	846	49	0	-	1
徳島	9,790	9,480	310	19	38	12	621	254	-	52	4	86	2	-	62	-
香川	9,770	10,100	▲330	53	34	8	190	343	-	1,184	33	245	9	1	-	-
愛媛	12,700	12,800	▲100	45	-	5	326	255	-	421	319	171	4	-	-	15
高知	10,100	10,200	▲100	83	-	23	1,047	334	-	3	51	127	0	-	2	75
福岡	32,200	32,300	▲100	214	13	232	2,160	2,307	-	1,190	7,691	405	34	-	7	309
佐賀	22,000	21,700	300	376	10	16	709	2,280	-	1,107	6,455	357	15	1	-	86
長崎	9,360	10,000	▲640	5	5	5	122	1,597	3	86	255	1,690	37	1	-	135
熊本	28,800	28,900	▲100	667	39	160	1,392	9,401	21	776	2,110	1,803	169	13	-	341
大分	17,800	18,100	▲300	159	5	8	1,793	2,799	-	656	1,100	905	86	2	18	53
宮崎	12,400	12,700	▲300	2,108	33	21	886	7,375	20	17	204	3,018	26	0	-	65
鹿児島	15,600	15,800	▲200	1,443	1	10	745	4,158	1	102	277	1,720	41	2	-	33
沖縄	557	544	13	40	-	2	1	43	-	-	-	23	-	-	-	-

※1 主食用米は統計部公表の都道府県別の主食用米面積。

※2 加工用米及び新規需要米は取組計画の認定面積で、備蓄米は地域農業再生協議会が把握した面積。

※3 麦、大豆、飼料作物、そば、なたねは地方農政局等が都道府県農業再生協議会等に聞き取った面積(基幹作)。

※4 R6年畑地化面積は、R6年度に畑地化促進事業で採択された面積。

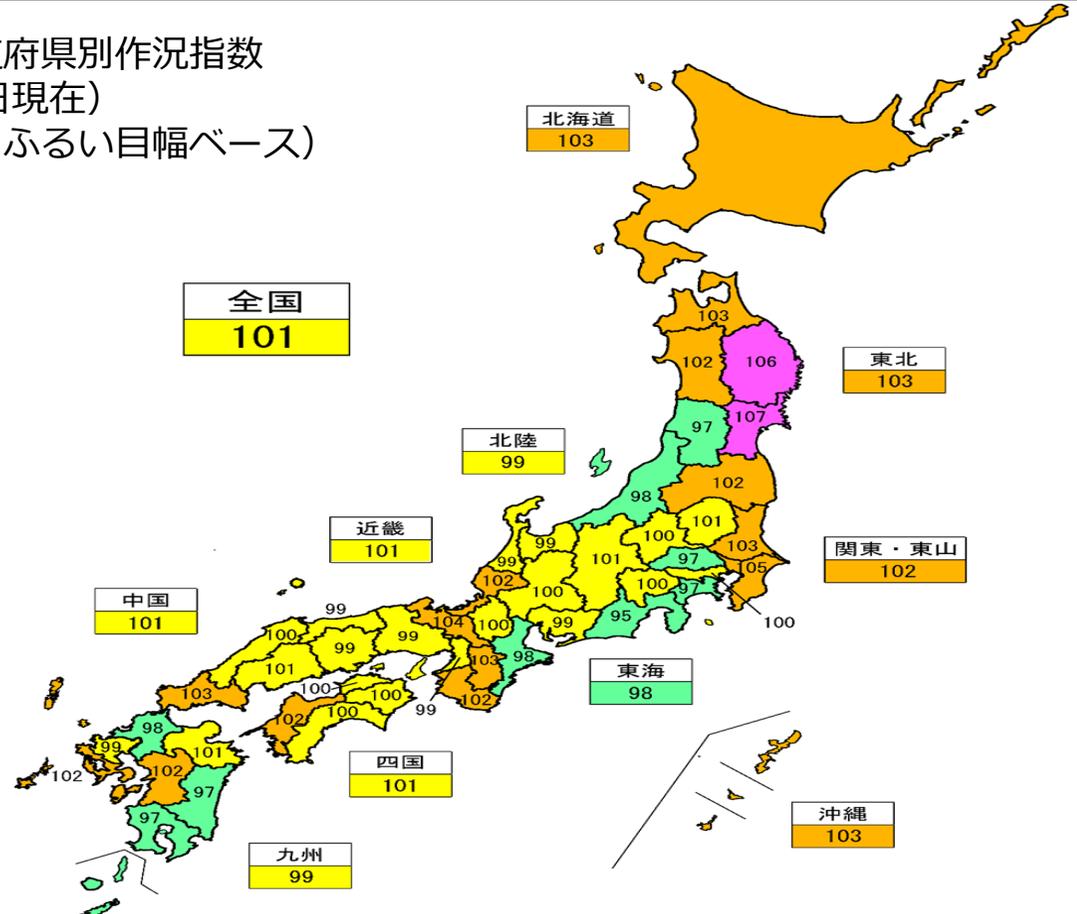
※畑地化事業による畑地化した面積は含まない。

# 令和6年産水稲の作付面積及び10月25日現在の予想収穫量

- 令和6年産水稲の作付面積（子実用）は135万9,000ha（前年産に比べ1万5,000ha増加）となった。うち主食用作付面積は125万9,000ha（前年産に比べ1万7,000ha増加）となった。
- 10月25日現在における全国の10a当たり予想収量は540kgと見込まれる。これは、全国的にはおおむね天候に恵まれたためである。なお、一部地域で5月下旬から6月上旬にかけての低温や6月下旬から7月中旬にかけての断続的な日照不足、8月以降の記録的な高温等の影響により収量が低下した。
- 以上の結果、予想収穫量（子実用）は734万5,000t（前年産に比べ18万t増加）と見込まれる。このうち、主食用の予想収穫量は679万2,000t（前年産に比べ18万2,000t増加）と見込まれる。
- 農家等が使用しているふるい目幅ベースの全国の作況指数は101と見込まれる。

全国農業地域・都道府県別作況指数  
(10月25日現在)  
(農家等が使用しているふるい目幅ベース)

作柄の良否（作況指数）	
	良 (106以上)
	やや良 (105～102)
	平年並み (101～99)
	やや不良 (98～95)



# 主食用米等の令和6/7年及び令和7/8年の需給見通し

## 【令和6/7年の主食用米等の需給見通し】

令和6年6月末民間在庫量	E	153
令和6年産主食用米等生産量	F	683
令和6/7年主食用米等供給量計	G=E+F	836
令和6/7年主食用米等需要量	H	674
令和7年6月末民間在庫量	I=G-H	162

## 【令和7/8年の主食用米等の需給見通し】

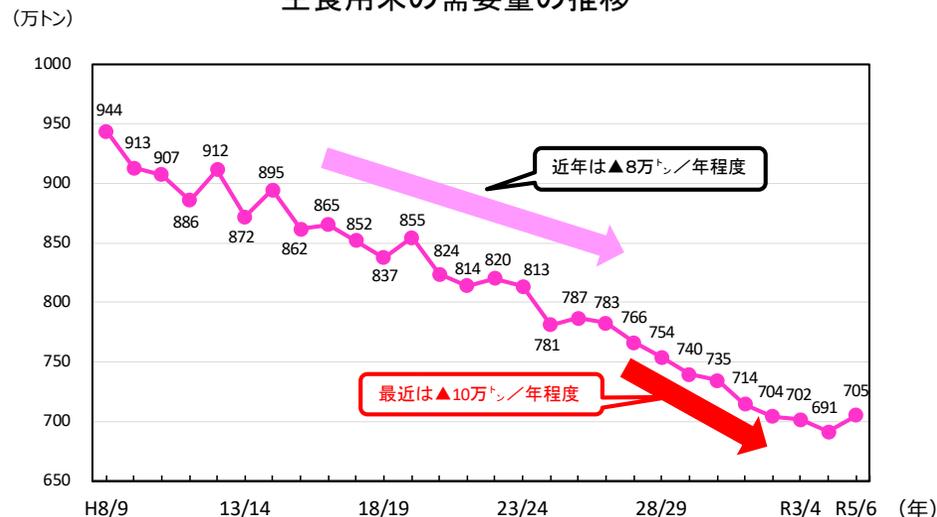
令和7年6月末民間在庫量	I	162
令和7年産主食用米等生産量	J	683
令和7/8年主食用米等供給量計	K=I+J	846
令和7/8年主食用米等需要量	L	663
令和8年6月末民間在庫量	M=K-L	182

注1：上記の見通しは、国内で生産された主食用米等の需給見通しであり、SBS方式による輸入米は含まれない。

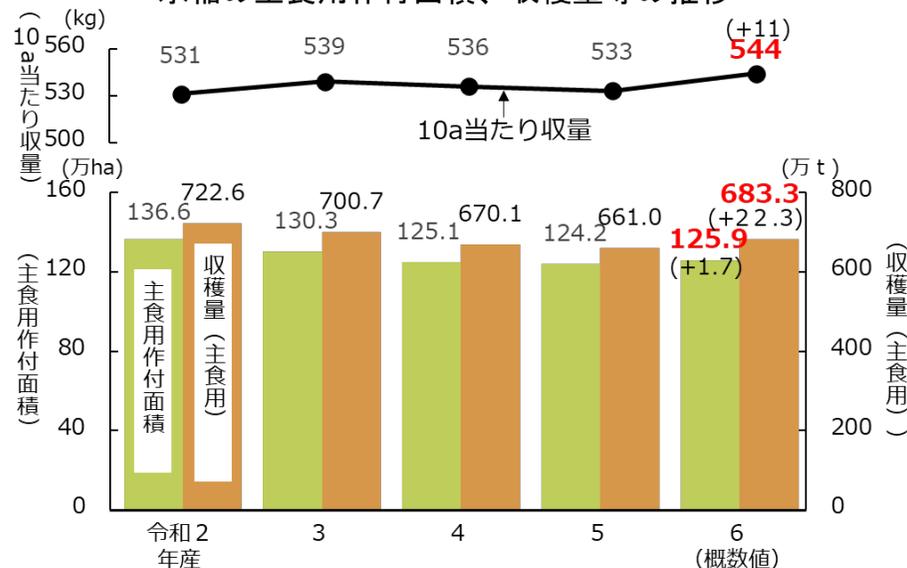
注2：ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。

○ 今後、令和6年産米の収穫量の確定や精米歩留まり、在庫、消費の動向等を見極め、令和7年年明け以降に食料・農業・農村政策審議会食糧部会を開催し、令和7年から令和8年にかけての需給見通しの見直しについて、改めて諮問することとします。

## 主食用米の需要量の推移



## 水稲の主食用作付面積、収穫量等の推移



注：R6年産の概数値は、農林水産省大臣官房統計部「令和6年産水稲の作付面積及び9月25日現在の予想収穫量」（令和6年10月11日公表）による。

# 米の販売数量及び民間在庫の推移（令和6年10月）

- 令和6年10月の米の販売数量の対前年同月比は、小売事業者向けで▲15%、中食・外食事業者等向けは±0%となっており、販売数量の計では▲8%となっている。
- 令和6年10月末現在の全国の民間在庫は、出荷・販売段階の計で対前年差▲45万トンの245万トンとなっており、出荷段階は対前年差▲48万トンの187万トン、販売段階は対前年差+4万トンの57万トンとなっている。

## 【米穀販売事業者における販売数量の動向(前年同月比)(速報)】

	5年1月 ～12月計	6年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
小売事業者向け	102%	106%	108%	107%	108%	106%	114%	104%	100%	86%	85%		
(※令和元年との比較)	(103%)	(110%)	(111%)	(108%)	(109%)	(114%)	(116%)	(104%)	(107%)	(87%)	(86%)		
中食・外食事業者等向け	105%	103%	106%	100%	99%	103%	98%	99%	100%	97%	100%		
(※令和元年との比較)	(97%)	(96%)	(100%)	(95%)	(94%)	(102%)	(97%)	(97%)	(97%)	(98%)	(100%)		
販売数量計	103%	105%	107%	104%	104%	105%	107%	102%	100%	91%	92%		
(※令和元年との比較)	(101%)	(103%)	(106%)	(102%)	(102%)	(108%)	(107%)	(100%)	(102%)	(92%)	(93%)		

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注1：報告対象業者は、年間玄米仕入数量50,000トンの以上の販売事業者（年間取扱数量約150万ト（令和5年産主食用米等の生産量661万トの約2割））である。

2：上記の数値については、報告対象者が販売している精米の全体の価格・数量の動向を指数化したものであり、個別の取引や産地銘柄毎の動向を表すものではない。

3：令和2年2月以降、新型コロナウイルス感染症の影響により、各月ごとの消費動向に大きな変動が生じていることから、参考として令和元年（4月までは平成31年）の同月との比較をした値を記載。

## 【購入数量の推移(家計調査)】

(単位：Kg、%)

	5年1月 ～12月計	6年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
米	56.65	3.52	3.92	4.49	4.38	4.87	4.64	4.37	5.73	6.35			
前年同期比	98.7%	94.6%	96.6%	105.6%	97.1%	109.4%	109.7%	99.5%	129.1%	104.8%			
パン	98.0%	103.9%	101.2%	104.0%	101.4%	99.7%	96.9%	102.3%	103.8%	94.9%			
めん類	93.8%	99.2%	100.0%	99.6%	94.1%	97.7%	103.7%	93.4%	104.6%	107.0%			

資料：総務省「家計調査」家計収支編 二人以上の世帯

## 【民間在庫量の推移(出荷+販売段階)(速報)】

	当年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	翌年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
5/6年												
出荷+販売段階	123	104	199	289	303	298	274	244	214	180	145	115
出荷段階	95	78	161	235	249	246	228	202	171	139	112	84
販売段階	27	26	38	54	54	52	46	42	43	41	34	31
6/7年												
出荷+販売段階	82	65	149	245								
対前年差	▲40	▲39	▲51	▲45								
出荷段階	58	44	113	187								
対前年差	▲38	▲34	▲49	▲48								
販売段階	25	21	36	57								
対前年差	▲3	▲5	▲2	+4								

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注1：水稲うるちのみ及び水稲うるち玄米（醸造用玄米を含む。）の月末在庫量（玄米換算）の値である。

2：報告対象業者は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の玄米仕入量が500トン以上）、米穀の販売の事業を行う者（年間の玄米仕入量が4,000トン以上）である。

3：期間については、6/7年であれば、令和6年7月～7年6月である。

# 民間在庫量と需要量の比率(在庫率)の推移

- 令和6年10月末の民間在庫量は、245万トンと近年では最も低い水準。
- 令和6年10月末の在庫量を年間の需要量で割った比率(在庫率)は36.4%であり、平成23年10月末(36.6%)とほぼ同水準となっている。

## 【在庫率の推移】

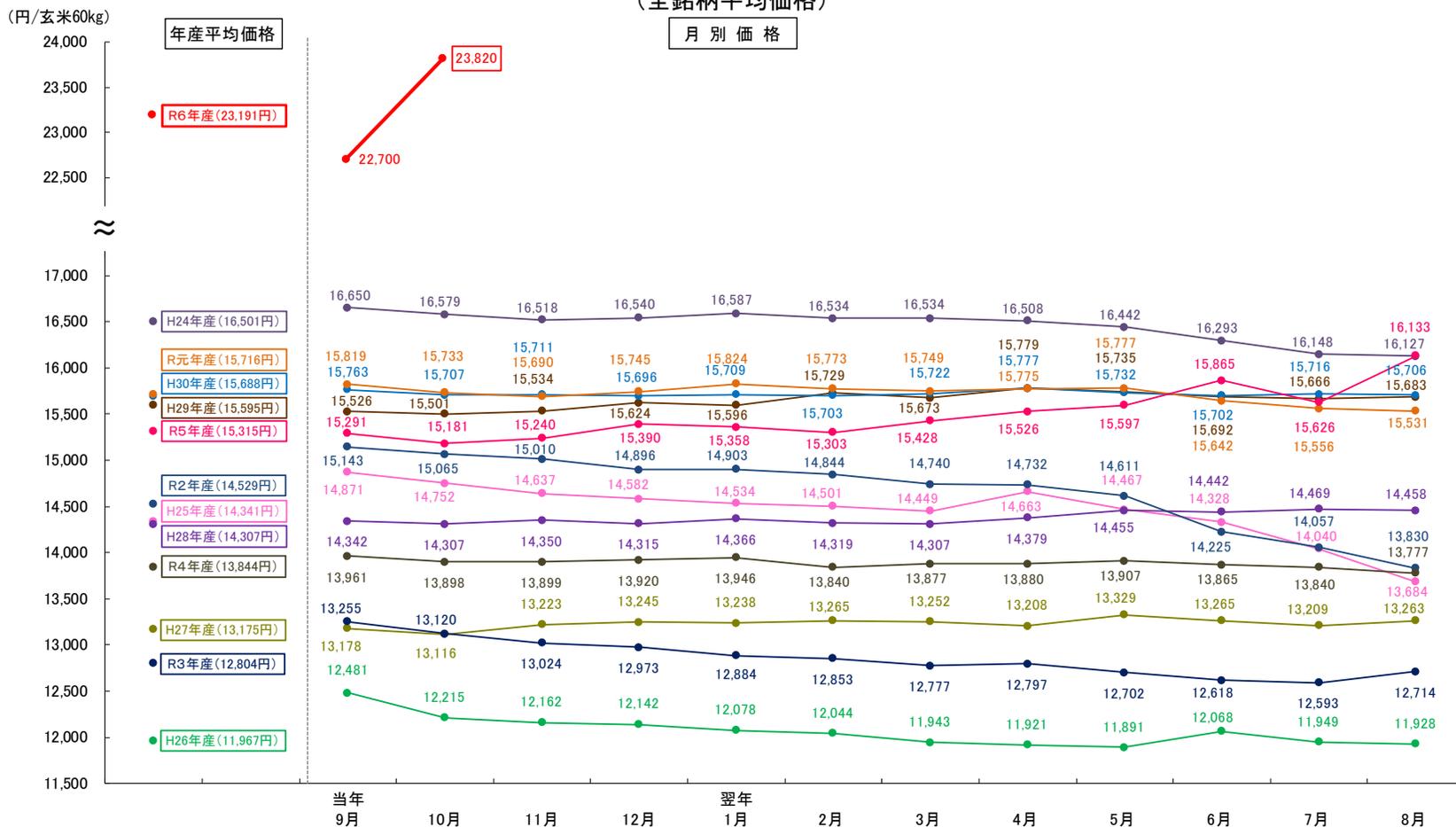
年	需要実績	上段: 在庫量(出荷段階+販売段階) 下段: 在庫率(月末の在庫量÷年間の需要量)												基本指針 ベース 6月
		7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	
20/21	824	66 8.0%	48 5.8%	134 16.3%	325 39.5%	351 42.6%	346 42.0%	322 39.1%	293 35.6%	257 31.2%	221 26.8%	195 23.7%	148 18.0%	212 25.8%
21/22	814	113 13.9%	93 11.4%	164 20.1%	349 42.9%	380 46.7%	372 45.7%	347 42.6%	320 39.3%	267 32.8%	228 28.0%	191 23.5%	154 18.9%	216 26.5%
22/23	820	118 14.4%	102 12.4%	212 25.9%	351 42.8%	372 45.4%	363 44.3%	339 41.3%	304 37.1%	238 29.0%	200 24.4%	156 19.0%	118 14.4%	181 22.0%
23/24	813	83 10.2%	55 6.8%	134 16.5%	298 36.6%	327 40.2%	320 39.3%	291 35.8%	259 31.8%	224 27.5%	185 22.7%	147 18.1%	113 13.9%	180 22.1%
24/25	781	78 10.0%	62 7.9%	167 21.4%	337 43.1%	357 45.7%	351 44.9%	324 41.5%	293 37.5%	264 33.8%	229 29.3%	190 24.3%	157 20.1%	224 28.6%
25/26	787	120 15.3%	104 13.2%	210 26.7%	368 46.8%	393 50.0%	389 49.5%	358 45.5%	330 42.0%	291 37.0%	258 32.8%	223 28.3%	190 24.2%	220 28.0%
26/27	783	119 15.2%	103 13.2%	198 25.3%	344 44.0%	368 47.0%	365 46.6%	343 43.8%	314 40.1%	280 35.8%	243 31.1%	208 26.6%	168 21.5%	226 28.9%
27/28	766	130 17.0%	112 14.6%	184 24.0%	321 41.9%	341 44.5%	337 44.0%	314 41.0%	287 37.5%	254 33.2%	218 28.5%	183 23.9%	147 19.2%	204 26.6%
28/29	754	114 15.1%	93 12.3%	177 23.5%	314 41.6%	338 44.8%	329 43.6%	306 40.6%	282 37.4%	248 32.9%	212 28.1%	177 23.5%	141 18.7%	199 26.4%
29/30	740	108 14.6%	88 11.9%	155 21.0%	283 38.3%	315 42.6%	311 42.0%	288 38.9%	263 35.6%	234 31.6%	201 27.2%	167 22.6%	134 18.1%	190 25.7%
30/元	735	102 13.9%	87 11.8%	151 20.6%	288 39.2%	305 41.5%	301 41.0%	282 38.4%	258 35.1%	227 30.9%	192 26.1%	161 21.9%	131 17.8%	189 25.7%
元/2	714	99 13.9%	79 11.1%	161 22.5%	294 41.2%	315 44.1%	318 44.5%	295 41.3%	266 37.2%	233 32.6%	204 28.6%	178 24.9%	154 21.6%	200 28.0%
2/3	704	119 16.9%	101 14.3%	190 27.0%	324 46.0%	344 48.9%	342 48.6%	321 45.6%	293 41.6%	265 37.6%	230 32.7%	199 28.3%	173 24.6%	218 31.0%
3/4	702	138 19.7%	118 16.8%	214 30.5%	330 47.0%	351 50.0%	349 49.8%	326 46.5%	299 42.6%	270 38.5%	238 33.9%	204 29.1%	172 24.5%	218 31.0%
4/5	691	142 20.5%	122 17.7%	199 28.8%	313 45.3%	330 47.7%	328 47.5%	306 44.3%	280 40.5%	251 36.3%	219 31.7%	186 26.9%	153 22.1%	197 28.4%
5/6	705	123 17.4%	104 14.8%	199 28.2%	289 41.0%	303 43.0%	298 42.3%	274 38.9%	244 34.6%	214 30.4%	180 25.5%	145 20.6%	115 16.3%	153 21.7%
6/7	※ 674	82 12.2%	65 9.6%	149 22.1%	245 36.4%									

※22/23年以前は、政府備蓄米の運営を回転備蓄方式で実施していたため、政府備蓄米がこの他に主食用米として販売されている。  
 ※需要実績欄の6/7年は見通し値である。

# 相対取引価格の推移（平成24年産～令和6年産）

- 令和6年産米の令和6年10月の相対取引価格は、全銘柄平均で23,820円/60kgとなり、前年同月比+8,639円（+57%）、前月比+1,120円（+5%）、取扱数量は、前年同月比+60%となったところ。
- 令和6年10月までの年産平均価格23,191円/60kgは、出荷業者と卸売業者等との間の取引価格としては、平成5年産の23,607円/60kgに次ぐ価格である。

相対取引価格の推移（税込）  
（全銘柄平均価格）



資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注1：運賃、包装代、消費税相当額（平成26年3月までは5%、元年9月までは8%、元年10月以降は10%、ただし軽減税率対象は8%）を含む1等米の価格である。

2：グラフ左側の年産平均価格は、当該年産の出回りから翌年10月まで（6年産は出回りから令和6年10月までの速報値）の通年平均価格、右側は月ごとの価格の推移。

# 令和6年産米の相対取引価格（令和6年10月の年産平均価格）

（単位：円／玄米60kg（税込））

産地品種銘柄	令和6年産	令和5年産	価格差	
	〔出回り～ 6年10月〕 ①	〔出回り～ 6年10月〕 ②		①－②
北海道	ななつぼし	24,063	15,655	+ 8,408
北海道	ゆめひかり	25,877	16,452	+ 9,425
北海道	きらら397	23,320	15,102	+ 8,218
青森	まっしぐら	26,189	15,220	+ 10,969
青森	つがるロマン	-	15,421	-
岩手	ひとめぼれ	21,575	15,140	+ 6,435
岩手	銀河のしずく	21,707	15,459	+ 6,248
岩手	あきたこまち	23,737	15,119	+ 8,618
宮城	ひとめぼれ	23,208	15,007	+ 8,201
宮城	つや姫	23,792	15,556	+ 8,236
宮城	ササニシキ	23,954	15,592	+ 8,362
秋田	あきたこまち	23,490	15,317	+ 8,173
秋田	ひとめぼれ	22,821	14,375	+ 8,446
秋田	めんこいな	20,722	14,213	+ 6,509
山形	はえぬき	23,090	14,779	+ 8,311
山形	つや姫	25,151	18,745	+ 6,406
山形	雪若丸	23,655	15,497	+ 8,158
福島	コシヒカリ（中通り）	24,826	14,959	+ 9,867
福島	コシヒカリ（会津）	26,885	15,494	+ 11,391
福島	コシヒカリ（浜通り）	24,590	15,131	+ 9,459
福島	ひとめぼれ	25,228	14,537	+ 10,691
福島	天のつば	24,820	14,296	+ 10,524
茨城	コシヒカリ	26,704	15,235	+ 11,469
茨城	あきたこまち	25,453	14,726	+ 10,727
茨城	にじのきらめき	26,392	-	-
栃木	コシヒカリ	23,487	15,152	+ 8,335
栃木	とちぎの星	22,969	14,476	+ 8,493
栃木	あさひの夢	22,836	14,145	+ 8,691
群馬	あさひの夢	-	15,219	-
群馬	ゆめまつり	-	14,976	-
埼玉	彩のきずな	20,279	14,489	+ 5,790
埼玉	彩のかがやき	-	14,333	-
埼玉	コシヒカリ	21,619	15,055	+ 6,564
千葉	コシヒカリ	24,071	14,611	+ 9,460
千葉	ふさこがね	23,107	13,742	+ 9,365
千葉	ふさおとめ	22,994	13,985	+ 9,009
山梨	コシヒカリ	19,812	17,535	+ 2,277
長野	コシヒカリ	21,051	15,895	+ 5,156
長野	あきたこまち	19,880	15,127	+ 4,753
静岡	コシヒカリ	21,313	15,560	+ 5,753

産地品種銘柄	令和6年産	令和5年産	価格差	
	〔出回り～ 6年10月〕 ①	〔出回り～ 6年10月〕 ②		①－②
静岡	きぬむすめ	-	14,438	-
静岡	にこまる	-	14,407	-
新潟	コシヒカリ（一般）	22,608	16,927	+ 5,681
新潟	コシヒカリ（魚沼）	25,039	20,758	+ 4,281
新潟	コシヒカリ（佐渡）	22,869	17,441	+ 5,428
新潟	コシヒカリ（岩船）	22,862	17,325	+ 5,537
新潟	こしいぶき	20,345	14,596	+ 5,749
富山	コシヒカリ	22,868	15,915	+ 6,953
富山	てんたかく	20,269	14,920	+ 5,349
石川	コシヒカリ	21,579	15,678	+ 5,901
石川	ゆめみづほ	20,183	14,415	+ 5,768
福井	コシヒカリ	20,788	15,380	+ 5,408
福井	ハチエチゼン	19,668	13,881	+ 5,787
福井	あきさかり	19,510	14,185	+ 5,325
岐阜	ハツシモ	20,950	15,087	+ 5,863
岐阜	コシヒカリ	21,308	16,144	+ 5,164
岐阜	ほしじろし	23,092	13,929	+ 9,163
愛知	あいちのかおり	19,703	14,479	+ 5,224
愛知	コシヒカリ	-	-	-
愛知	大地の風	-	-	-
三重	コシヒカリ（一般）	21,243	14,716	+ 6,527
三重	コシヒカリ（伊賀）	21,498	15,085	+ 6,413
三重	キヌヒカリ	20,675	13,563	+ 7,112
滋賀	コシヒカリ	21,202	15,271	+ 5,931
滋賀	キヌヒカリ	20,757	13,965	+ 6,792
滋賀	みずかがみ	21,083	14,915	+ 6,168
京都	コシヒカリ	21,841	15,502	+ 6,339
京都	キヌヒカリ	19,335	14,057	+ 5,278
京都	ヒノヒカリ	-	15,970	-
兵庫	コシヒカリ	20,994	15,492	+ 5,502
兵庫	ヒノヒカリ	21,184	14,074	+ 7,110
兵庫	キヌヒカリ	20,289	13,986	+ 6,303
奈良	ヒノヒカリ	-	14,389	-
鳥取	きぬむすめ	20,728	14,404	+ 6,324
鳥取	コシヒカリ	20,912	15,005	+ 5,907
鳥取	ひとめぼれ	20,165	14,243	+ 5,922
島根	きぬむすめ	19,513	14,117	+ 5,396
島根	コシヒカリ	20,457	14,978	+ 5,479
島根	つや姫	20,230	14,743	+ 5,487
岡山	アケボノ	23,393	13,208	+ 10,185

産地品種銘柄	令和6年産	令和5年産	価格差			
	〔出回り～ 6年10月〕 ①	〔出回り～ 6年10月〕 ②		①－②		
岡山	きぬむすめ	22,111	13,793	+ 8,318		
岡山	コシヒカリ	22,919	14,533	+ 8,386		
広島	コシヒカリ	20,799	14,550	+ 6,249		
広島	あきさかり	19,661	13,857	+ 5,804		
広島	あきろまん	19,936	13,956	+ 5,980		
山口	コシヒカリ	21,748	14,918	+ 6,830		
山口	ひとめぼれ	20,858	14,071	+ 6,787		
山口	きぬむすめ	20,673	14,000	+ 6,673		
徳島	コシヒカリ	23,211	14,137	+ 9,074		
徳島	あきさかり	22,236	13,426	+ 8,810		
香川	コシヒカリ	21,049	15,325	+ 5,724		
香川	ヒノヒカリ	20,509	14,569	+ 5,940		
香川	あきさかり	20,293	14,245	+ 6,048		
愛媛	コシヒカリ	20,666	14,310	+ 6,356		
愛媛	ヒノヒカリ	23,663	13,878	+ 9,785		
愛媛	あきたこまち	20,226	13,596	+ 6,630		
高知	コシヒカリ	22,339	14,922	+ 7,417		
高知	ヒノヒカリ	21,367	13,634	+ 7,733		
福岡	夢つくし	20,911	15,458	+ 5,453		
福岡	ヒノヒカリ	21,100	14,139	+ 6,961		
福岡	元気つくし	21,696	15,434	+ 6,262		
佐賀	さがびより	22,005	14,873	+ 7,132		
佐賀	夢しずく	20,761	14,377	+ 6,384		
佐賀	ヒノヒカリ	-	14,121	-		
長崎	にこまる	-	14,584	-		
長崎	なつほのか	22,424	14,209	+ 8,215		
長崎	ヒノヒカリ	-	14,331	-		
熊本	ヒノヒカリ	24,890	14,821	+ 10,069		
熊本	森のくまさん	-	14,442	-		
熊本	コシヒカリ	23,306	15,242	+ 8,064		
大分	ヒノヒカリ	23,578	14,454	+ 9,124		
大分	なつほのか	23,787	-	-		
大分	ひとめぼれ	22,902	14,574	+ 8,328		
宮崎	コシヒカリ	22,600	14,582	+ 8,018		
宮崎	ヒノヒカリ	-	15,219	-		
鹿児島	ヒノヒカリ	-	14,763	-		
鹿児島	あきほなみ	-	15,115	-		
鹿児島	コシヒカリ	21,140	14,670	+ 6,470		
<b>全銘柄平均価格</b>				<b>23,191</b>	<b>15,315</b>	<b>+ 7,876</b>

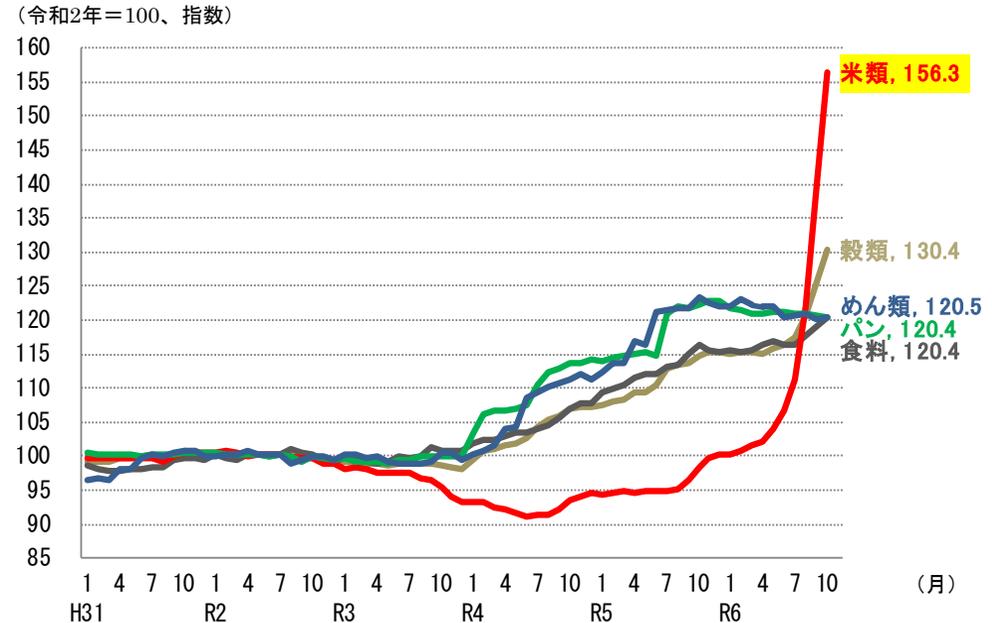
注1：農林水産省が調査・公表した出回りからの年産平均価格（令和6年産は出回りから6年10月までの速報値）であり、調査対象事業者は、一定規模以上の集荷業者（年間の販売数量5,000トン以上等）。  
 2：運賃、包装代、消費税相当額を含む1等米の価格である。なお、価格に含む消費税は、軽減税率の対象である米穀の包装代などの品代等は8%、運賃等は10%で算定している。  
 3：「-」については、当該年産において報告対象としていない産地品種銘柄又は取引数量の累計が100トン未満であり、公表を行っていないもの。

# 消費者物価指数の推移

- 令和6年10月の消費者物価指数（総務省、令和2年基準）は、食料全体が120.4、うち米類は156.3、パンは120.4、めん類は120.5。
- 米類については、他のパンやめん類等と比べ緩やかに上昇していたものの、8月以降は大幅に上昇。

(令和2年=100、指数)

	食料		穀類		米類 (うるち米)		うるち米 (コシヒカリ)		パン		めん類	
	対前年 (同月比)	対前年 (同月比)	対前年 (同月比)	対前年 (同月比)	対前年 (同月比)							
令和元年(平均)	98.7	0.4%	99.9	0.9%	99.9	0.2%	100.1	0.9%	100.3	0.9%	99.1	2.2%
2年(平均)	100.0	1.4%	100.0	0.1%	100.0	0.1%	100.0	▲0.1%	100.0	▲0.3%	100.0	1.0%
3年(平均)	100.0	0.0%	98.8	▲1.2%	96.8	▲3.2%	96.7	▲3.3%	99.5	▲0.5%	99.7	▲0.3%
4年(平均)	104.5	4.5%	103.7	5.0%	92.6	▲4.3%	93.3	▲3.5%	109.6	10.1%	107.1	7.4%
5年(平均)	112.9	8.1%	111.5	7.5%	96.1	3.8%	96.3	3.2%	118.4	8.1%	118.9	11.1%
令和6年 1月	115.7	5.7%	115.0	7.0%	100.3	6.2%	100.1	5.3%	121.8	6.9%	122.1	8.7%
2月	115.3	4.8%	115.3	6.6%	100.9	6.8%	100.2	5.3%	121.4	6.0%	123.1	8.4%
3月	115.7	4.8%	115.2	6.3%	101.7	7.2%	100.8	5.8%	121.0	5.4%	122.2	7.6%
4月	116.4	4.3%	115.1	5.3%	102.2	7.9%	100.8	5.8%	121.0	5.2%	121.9	4.2%
5月	116.8	4.1%	115.8	6.0%	103.9	9.5%	102.0	8.1%	121.1	5.2%	122.1	4.9%
6月	116.3	3.6%	116.3	5.4%	106.7	12.3%	104.6	9.7%	121.3	5.5%	120.3	▲0.8%
7月	116.4	2.9%	117.5	4.2%	111.3	17.2%	109.6	15.6%	120.9	0.0%	120.6	▲0.8%
8月	117.6	3.6%	120.8	6.5%	122.1	28.3%	119.8	25.6%	120.9	▲0.9%	120.9	▲0.7%
9月	119.0	3.4%	125.6	10.4%	139.6	44.7%	137.4	41.9%	120.7	▲0.9%	120.2	▲1.3%
10月	120.4	3.5%	130.4	13.5%	156.3	58.9%	153.8	56.5%	120.4	▲1.6%	120.5	▲2.3%



資料：総務省「消費者物価指数」令和2年基準、品目別価格指数（全国）

注1：食料は、穀類以外にも、魚介類、肉類等を含んでいる。

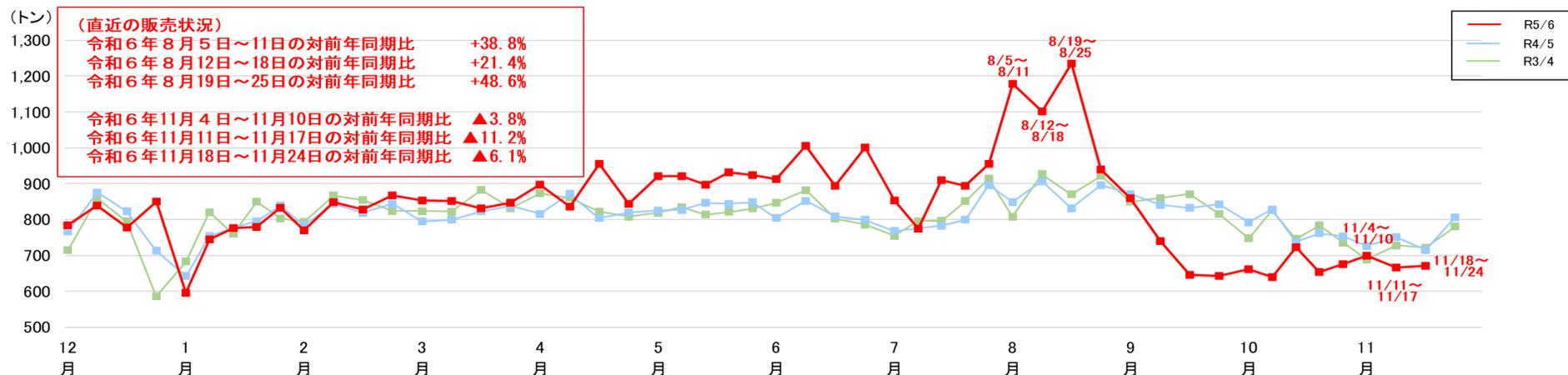
注2：穀類は、米類（うるち米）、パン、めん類、他の穀類からなる。

注3：令和元年～5年のデータは年平均、6年は月次データである。

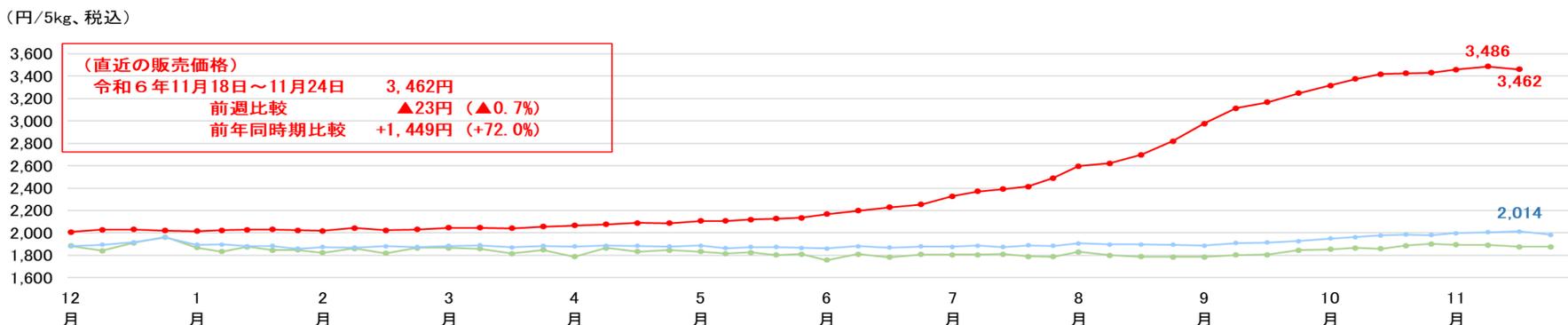
# スーパーでの販売数量・価格の推移（POSデータ）

- 令和6年4月以降の販売量は、令和4年及び5年と比較して堅調に推移。
- 令和6年8月は南海トラフ地震臨時情報（8月8日発表）、その後の地震、台風等による買い込み需要が発生したこと等により、8月5日以降伸びが著しい週が3週連続。9月2日以降の週は前年を下回る水準で推移し、11月18日の週は対前年同期▲6%。

## （1）販売数量の推移



## （2）販売価格の推移



資料：(株)KSP-SPが提供するPOSデータに基づいて農林水産省が作成

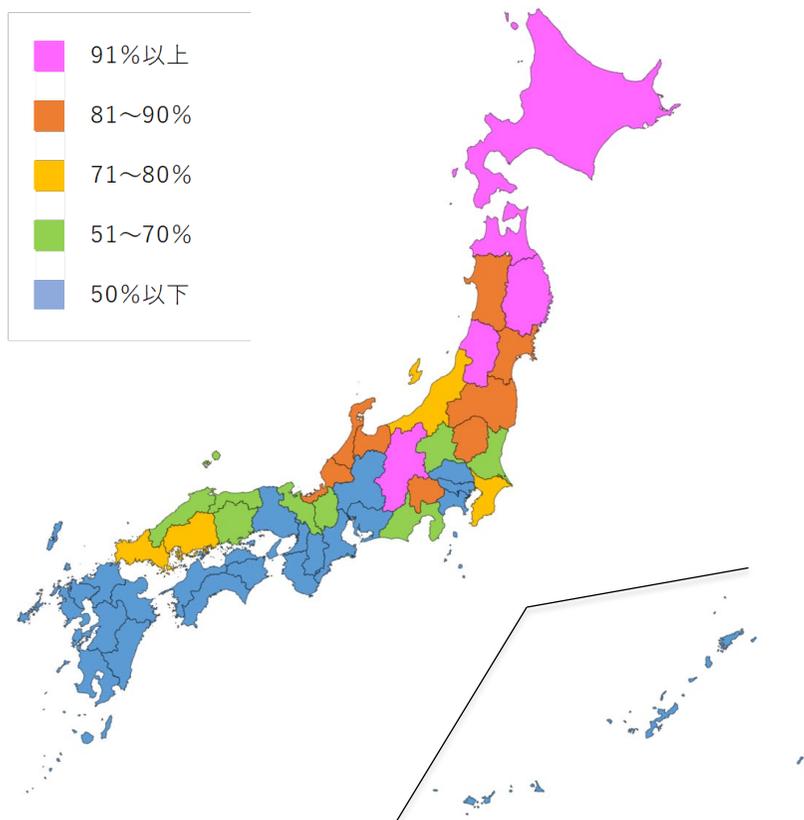
注1：(株)KSP-SPが提供するPOSデータは、全国約1,000店舗のスーパーから購入したデータに基づくものである。

注2：週次データを月ベースに当てはめているため、実際の月とは若干異なる場合がある。

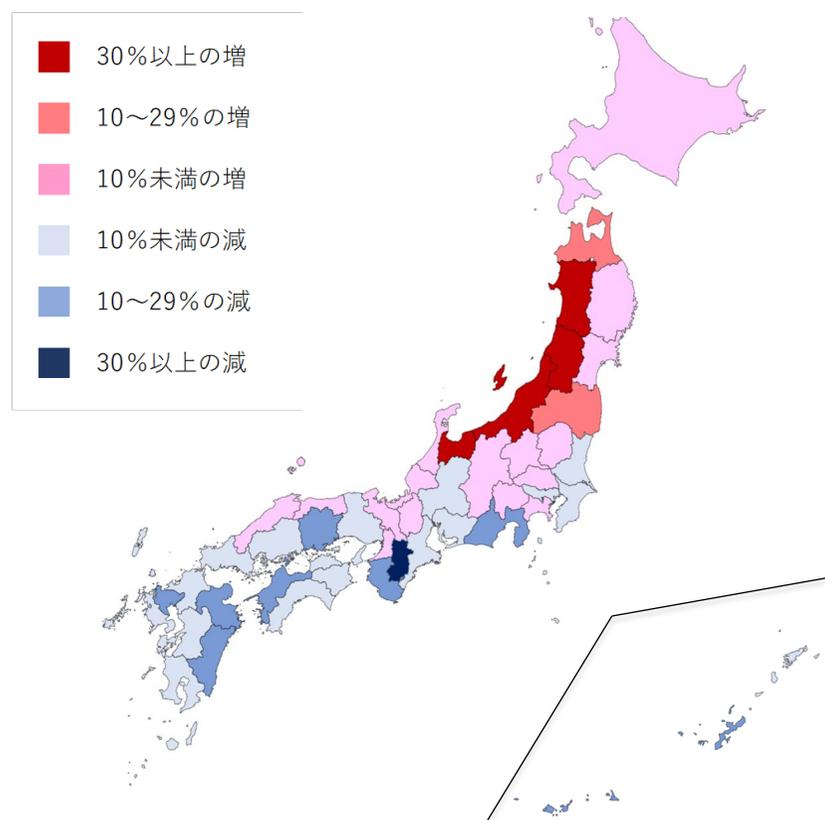
# 令和6年産水稻うるち玄米の1等比率及び前年産比較（10月31日現在）

- 令和6年産水稻うるち玄米の10月31日現在の検査数量は、令和5年産同期328.3万トと同等水準の327.0万トとなっている。
- 水稻うるち玄米の10月31日現在の1等比率は、過去5年平均75.6%とほぼ同じ77.1%となっている。
- 登熟期の高温による影響により10月末の1等比率が例年よりも低い状況にあった令和5年産に比べ、新潟県77.9%（対前年同期：+62.2%）、山形県92.7%（対前年同期：+47.4%）など22道府県において、1等比率が増加している。

## 1等比率(6年産・10月末時点)



## 1等比率 5年産との比較(10月末時点)



# 令和6年産水稲うるち玄米 等級別検査数量(令和6年10月31日現在)

(単位:%)

	等級比率				1等比率	
	1等	2等	3等	規格外	前年同期	5力年平均 (R1-R5)
北海道	91.4	5.3	0.7	2.6	87.3	89.9
青森	93.5	6.1	0.4	0.0	68.0	87.6
岩手	94.4	5.2	0.4	0.0	91.1	94.8
宮城	89.8	9.1	0.7	0.4	82.9	86.4
秋田	88.6	9.1	1.4	0.9	58.2	82.0
山形	92.7	6.7	0.4	0.3	47.4	83.9
福島	89.0	10.3	0.6	0.1	76.4	89.2
茨城	55.9	37.6	5.9	0.6	55.9	73.9
栃木	89.2	9.5	1.1	0.2	85.6	91.7
群馬	66.6	23.6	9.5	0.3	64.4	82.8
埼玉	32.4	40.1	18.6	8.9	28.3	59.5
千葉	78.5	19.0	2.0	0.4	87.8	87.7
東京	-	5.9	90.6	3.5	-	-
神奈川	16.7	79.0	4.1	0.2	15.1	32.0
山梨	80.3	18.1	1.6	0.0	74.2	81.5
長野	93.5	5.8	0.6	0.1	92.1	94.9
静岡	58.7	32.6	8.2	0.5	77.3	79.6
新潟	77.9	20.0	1.6	0.5	15.7	55.1
富山	89.7	9.0	1.2	0.1	58.1	83.9
石川	87.9	10.3	1.3	0.5	79.7	85.8
福井	88.6	7.8	1.3	2.4	84.1	84.8
岐阜	46.4	45.5	6.0	2.0	47.8	62.8
愛知	32.8	39.2	26.1	1.9	34.7	53.7
三重	26.3	66.3	6.8	0.5	31.3	37.5

	等級比率				1等比率	
	1等	2等	3等	規格外	前年同期	5力年平均 (R1-R5)
滋賀	59.6	35.5	4.5	0.3	56.0	63.3
京都	64.7	28.4	6.2	0.7	56.7	63.2
大阪	47.4	43.5	8.7	0.4	43.0	47.4
兵庫	34.6	54.4	10.1	0.9	38.0	50.5
奈良	33.4	61.5	4.9	0.2	86.4	87.9
和歌山	11.5	62.7	23.8	2.0	28.4	31.8
鳥取	56.0	39.6	3.9	0.5	48.7	52.7
島根	58.1	31.2	9.4	1.3	55.9	64.9
岡山	60.7	34.1	4.5	0.8	72.4	70.1
広島	78.1	18.5	3.0	0.4	85.6	85.4
山口	71.4	25.1	2.9	0.6	77.2	73.7
徳島	34.0	52.6	11.2	2.1	42.0	43.9
香川	11.3	71.9	16.5	0.3	16.9	22.9
愛媛	27.2	60.2	10.6	2.0	45.3	40.4
高知	15.0	67.7	14.3	3.0	19.3	17.8
福岡	11.6	71.3	13.7	3.4	18.7	22.6
佐賀	45.2	50.9	1.6	2.4	67.3	50.1
長崎	44.6	49.6	5.1	0.7	53.0	34.3
熊本	27.7	63.2	8.3	0.8	32.6	29.1
大分	41.6	44.0	13.1	1.3	58.0	50.9
宮崎	35.4	31.0	29.7	3.8	48.5	46.0
鹿児島	25.0	55.0	17.8	2.2	33.0	38.9
沖縄	46.1	33.0	18.4	2.6	57.8	52.7
全国	77.1	18.9	3.1	0.9	61.3	75.1

注 1) ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。

2) 「0」は単位に満たないもの、「-」は事実がないものを示している。

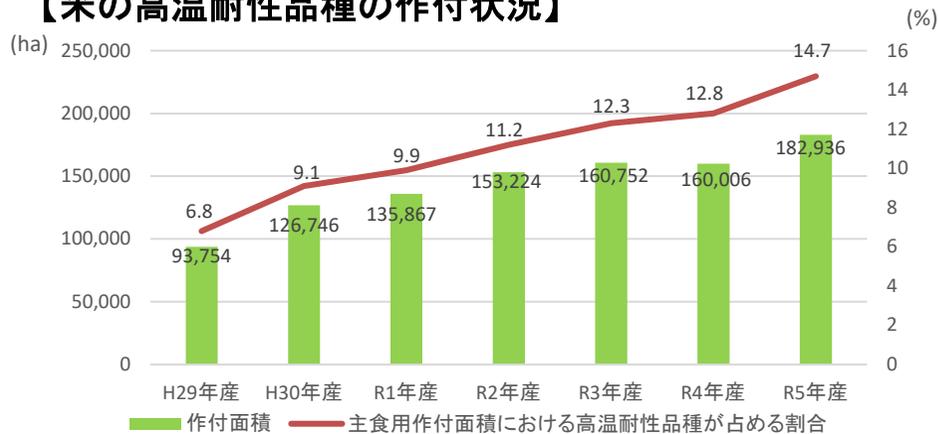
3) 「5力年平均」は、令和元年産から令和4年産の確定値及び令和5年産の速報値(翌年3月末現在)による平均値。

# 夏の高温・渇水の状況と対応について

- 令和5年は、梅雨明け以降、北・東日本を中心に記録的な高温で推移。
- このため、出穂期以降の高温による白未熟粒の発生などが懸念された各県においては、品質低下を防ぐための追肥や水管理・適期収穫等の対応を強化。加えて、一部地域では少雨による渇水のため、番水(※)や消雪用井戸の活用等も実施。
- 地球温暖化に伴い高温傾向が続くことが見込まれることから、高温耐性品種の拡大を進める必要。
- 令和6年においても、高温耐性品種や栽培技術の導入実証を通じた新たな栽培体系への転換に対する支援を措置し、産地における高温環境への対応に向けた取組を促進。

※番水：用水の受益地区をいくつかに分け、区分した地区ごと、または圃場ごとに順番と時間を決めて、数日ごとに配水する方法。

## 【米の高温耐性品種の作付状況】



## 【令和6年度の対策】

### <国からの指導通知>

- ・高温に伴う農作物等の被害防止に向けた技術指導の通知(令和6年4月25日、8月2日)発出

### <国からの支援>

- ・「高温対策栽培体系への転換支援(令和5年度補正予算 2.7億円)」により15道府県23産地で水稲、野菜、花きの高温耐性品種の導入などの取組を支援

### ～水稲の事例～

都道府県	事業実施主体	取組内容
秋田県	JA秋田おばこ	飽水管理
福島県	福島米肥稲作部会・高温対策研究会	高温耐性品種(にじのきらめき)の導入、省力化高窒素肥料(指定肥料・指定投下量)の施用
茨城県	茨城県	高温耐性品種(にじのきらめき)の導入、水管理、追肥施用、堆肥施用、深耕、病害虫防除
栃木県	米米くらぶ	高温耐性品種(とちぎの星)の導入、害虫防除
新潟県	新潟県指導農業士会	高窒素鶏ふんベレットの基肥利用栽培体系
富山県	富山県	追加穂肥の実施、堆肥の散布、ゼオライトの散布
富山県	富山県再生協議会	高温耐性品種(富富富、てんたかく、てんこもり)への切替実証
石川県	JA石川かほく	追肥
兵庫県	長尾環直研究会	高温耐性品種(にじのきらめき)の導入
鳥取県	鳥取県産米改良協会	高温耐性品種(星空舞)の導入、堆肥施用
島根県	やすぎ高温耐性米生産推進協議会	高温耐性品種(きぬむすめ、にじのきらめき等)の導入、土づくり(堆肥・土壌改良剤施用)、元肥、追肥(ケイ酸質肥料等)、農薬の適期適量散布、かけ流し灌水

品種名	作付面積 (令和5年産)	作付けの多い上位3都道府県	品種名	作付面積 (令和5年産)	作付けの多い上位3都道府県
きぬむすめ	22,549ha	島根、岡山、鳥取	さがびより	6,220ha	佐賀
こしいぶき	18,300ha	新潟	ハナエチゼン	6,100ha	福井
つや姫	17,823ha	山形、宮城、島根	夢しずく	5,750ha	佐賀
ふさこがね	11,700ha	千葉	なつほのか	5,287ha	長崎、大分、鹿児島
とちぎの星	8,500ha	栃木	ゆきん子舞	5,200ha	新潟
あきさかり	8,361ha	広島、徳島、福井	新之助	4,800ha	新潟
にこまる	7,913ha	長崎、静岡、岡山	雪若丸	4,500ha	山形
彩のきずな	6,900ha	埼玉	その他	36,723ha	
元気つくし	6,310ha	福岡	計	182,936ha	

出典：農林水産省「令和5年夏の記録的高温に係る影響と効果のあった温暖化適応策等の状況レポート」  
 ※1 高温耐性品種とは、高温にあっても玄米品質や収量が低下しにくい品種で、地球温暖化による影響に適応することを目的として導入された面積について、都道府県から報告があったものを取りまとめたもの。  
 ※2 作付面積には推計値も含まれる。